

【SR-7 評価シート エビデンス総体】

診療ガイドライン	がん薬物療法に伴う血管外漏出に関する合同ガイドライン
対象	がん患者
介入	CVポートの留置
対照	CVカテーテル

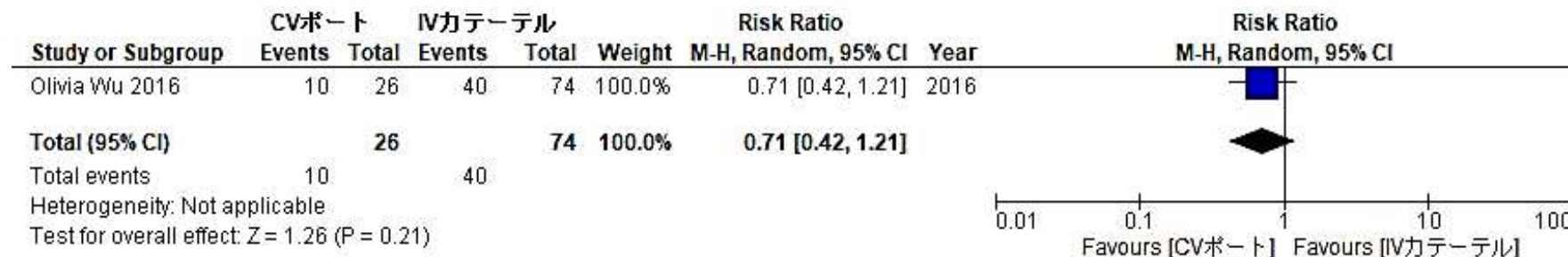
*バイアスリスク、非直接性
各ドメインの評価は「高（-2）」、「中／疑い（-1）」、「低（0）」の3段階。
まとめは「高（-2）」、「中（-1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。

**上昇要因
各項目の評価は「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階。
まとめは「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
アウトカムごとに別紙にまとめる。

エビデンス総体

エビデンス総体								リスク人数（アウトカム率）													
アウトカム	研究数	研究デザイン／	*バイアスリスク	*非一貫性	*不精確性	*非直接性	*その他（出版バイアスなど）	*（観察研究）	対照群分母	対照群分子	(%)	介入群分母	介入群分子	(%)	効果指標（種類）	効果指標統合値	95%信頼区間	強さ	*エビデンスの	*重要性	コメント
デバイス留置後の合併症(感染、血栓、血管外漏出)	RCT/1		0	0	0	0	0		74	40	54	26	10	38	RR	0.71	0.42-1.21	B	7		p=0.21 Johansson E 2004は、定量的分析に入らなかったの でWu O 2016のみを示しています。 エビデンスの強さはCとすることも考えましたが本GLの特性を鑑みてBにしました。 判定会議でのご審議をお願いします。
デバイス留置後の感染	RCT/2		-1	-2	-1	-1	-1		94	32	34	43	10	23	RR	0.44	0.02-8.43	B	7		p=0.59 エビデンスの強さはCとすることも考えましたが本GLの特性を鑑みてBにしました。 判定会議でのご審議をお願いします。
デバイス留置後の血栓	RCT/1		0	0	0	0	0		74	1	1	26	1	4	RR	2.85	0.18-43.88	B	7		p=0.45 Johansson E 2004は、定量的分析に入らなかったの でWu O 2016のみを示しています。 エビデンスの強さはCとすることも考えましたが本GLの特性を鑑みてBにしました。 判定会議でのご審議をお願いします。
デバイスfailure(閉塞、感染、抜去など)	RCT/2		-1	0	-1	-1	-1		94	29	31	43	5	12	RR	0.34	0.09-1.30	A	9		p=0.12（傾向はある） エビデンスの強さはBとすることも考えましたが本GLの特性を鑑みてAにしました。 判定会議でのご審議をお願いします。

デバイス留置後の合併症(感染、血栓、血管外漏出)



デバイス留置後の感染



デバイス留置後の血栓



デバイスfailure(閉塞、感染、抜去など)

